

尾張南支部

リスクアセスメント出前講座

- 日 時：令和5年11月21日（火）午後2時
- 場 所：アイプラザ半田（半田市東洋町）
- 参加者：38名

尾張南支部（金田英和支部長）は、支部会員の各社における安全な作業を推進する事業として「リスクアセスメント出前講座」を開催しました。

講座は新井宝造委員の司会進行のもと始まり、開会の挨拶で金田支部長は「本日はお忙しい中、多数ご参加いただきありがとうございます。今日は半田労働基準監督署から講師をお迎えして『リスクアセスメント出前講座』を開催致します。丁度季節も年末近くになり慌ただしくなっています。会社での事故や怪我のないよう、今日の講義をしっかりと習得していただき社内の皆様にご周知していただきますようお願いします。」と述べました。



挨拶をする金田支部長

次に新井委員から講師の紹介があり、半田労働基準監督署安全衛生課課長 神谷貴志氏が登壇されました。



講師の神谷課長

挨拶で神谷講師は「本日の『リスクアセスメント出前講座』は昨年度より始まり、愛知労働局でリスクアセスメントを推進するということから、出張して講座を行っています。本日、前半は労働災害防止について、後半はリスクアセスメントについて、お話しをさせていただきます。リスクアセスメントは馴染みが薄い企業さんもありますのでできるだけ分かりやすいよう説明していきます。」と述べ、講義が始まりました。

・講義内容

1. 第14次労働災害防止推進計画

計画のねらい、概要、具体的な取組

2. 安全経営あいち

PQCDSME、企業価値の向上、安全経営あいちは雇用や働き方改革等にも通ずる



講座の様子

3. 労働災害の発生状況

死亡災害・労働災害による死傷者・高年齢労働者の発生状況・件数の推移等

4. 労働災害防止対策

墜落、転落災害の防止、労働安全衛生規約改正内容について、昇降設備の設置、保護帽の着用、はさまれ・巻き込まれ災害にかかる法規制（抜粋）、運転停止・計画の作成・周知は事業者の責務等

～リスクアセスメント留意点～

§ 1 安全を理解する

日本と欧米の考え方の違い、安全と安心、安全とは、安全はリスク経由で定義等

§ 2 リスクアセスメントとは

リスクアセスメントの意図すること、気づきによる調査手法の限界、災害発生のシナリオ、リスクアセスメント手法（網羅的手法：作業を把握する仕組み、科学的手法：対象とする危険源を定める）
a 作業を把握する仕組み、b 対象とする危険源を定める、c 作業と関わる危険源の範囲、d リスクアセスメントの用語など

§ 3 リスク見積りと記録シート

a よくある記録シートと誤解、b 記録シートの記載例

§ 4 対策の考え方

a 対策も災害発生のシナリオに沿って、b 本質安全を考える、c 残留リスクと向き合う

講義後の質疑応答では、参加者の質問に分かりやすく答えていただけたという感想があり、最後に都筑章副支部長が謝辞の中で「作業の順番をみんなで考えリスクを見つける、という点に気づけたので社内で実践したい。」と述べられ閉会となりました。